

令和4（2022）年度

事業報告書並びに収支計算書及び
貸借対照表、
正味財産増減計算書、財産目録

公益目的事業 1

駿府博物館の展覧会事業及び教育普及事業

A. 展覧会事業

1. 企画展 郷土の画人展 ～静岡 美の潮流

- 主 催 駿府博物館
後 援 静岡新聞社・静岡放送
- 会 期 2022年4月23日(土)～6月12日(日)[44日間]
■開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
■休 館 日 月曜日
■会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送別館2階)
■入 館 料 《当日券のみ》高校生以上500円 中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料
■内 容

郷土静岡県出身者や地元で活躍した画家、画人を所蔵品中心に展覧しました。江戸時代後期の江川坦庵から、現在活躍中の中田真央や石松千明まで、幅広い時代をまたいでご紹介した。

■関連イベント

●ギャラリートーク

- 解 説 森下善彦(駿府博物館学芸員)
日 時 5月28日(土) 午後2時から
会 場 展示室内
参 加 費 無料(※入館料のみ)
内 容 当館学芸員が鑑賞のポイントを解説した。

参加者: 8人

入 館 者 有料:329人 無料:192人 合計:521人

2. 特別展 柴田ケイコ「パンドロぼう」展

- 主 催 駿府博物館、静岡新聞社・静岡放送
後 援 静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、焼津市教育委員会、藤枝市教育委員会
- 会 期 2022年7月17日(日)～9月4日(日)[43日間]
■開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
■休 館 日 月曜日(※7月18日は開館し翌日休館)
■会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送別館2階)
■入 館 料 高校生以上800円(600円) 中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料
※()内は前売り料金

■内 容

絵本「パンドロぼう」シリーズの原画(約 60 点)を中心に紹介しました。「おちゃめ」なイラストと意外性に富んだストーリー展開は、幅広い年齢層のファンをひきつけた。

■関連イベント

●特別ギャラリートーク&サイン会

解 説 柴田ケイコ 氏(絵本作家)

日 時 中止

※7月30日(土) ①16時30分から ②17時45分からと2回の開催を予定していたが、作家関係者の新型コロナウイルス感染のため、開催を中止した。

事前募集の当選者(①30名/13組、②30名/15組)には柴田ケイコ氏サインを郵送した。

●絵本の読み聞かせ

解 説 鈴木通代 氏(フリーアナウンサー/SBS ラジオの読み聞かせ番組を長年担当)

日 時 8月20日(土) ①13時30分から ②14時30分から

会 場 展示室内

参 加 費 無料(※入館料のみ、但し事前募集の当選者優先)

内 容 「パンドロぼう」シリーズ3冊(「パンドロぼう」「パンドロぼう vs にせパンドロぼう」「パンドロぼうとなぞのフランスパン」)を子供たちに読み聞かせた。

参加者: ①20人、②32人

●『登呂ミュージアムストリートvol.4』3館をまわって「オリジナルうちわ」を作ろう

日 時 8月2日(火)～8月31日(水)

会 場 駿府博物館内スタンプコーナー

参 加 費 無料(※入館料のみ)

内 容 参加者に「うちわ」を配布し、各館のスタンプを自由に押して「オリジナルうちわ」を作ってもらった。3館を巡った方には記念品をプレゼントした。

参加者: 合計 718人

入 館 者 有料:5,364人 無料:4,547人 合計:9,911人

3. 特別展 福井利佐“生命の力を描く 切り絵の世界”

主 催 駿府博物館、静岡新聞社・静岡放送

後 援 静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、焼津市教育委員会、藤枝市教育委員会

■会 期 2022年10月15日(土)～12月11日(日)[50日間]

■開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休 館 日 月曜日

■会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡新聞放送別館2階)

■入 館 料 《当日券のみ》高校生以上800円 中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料

■内 容

静岡市出身の切り絵アーティスト 福井利佐による最新作「富士山とカラマツ」が中心の展覧会で、絵本化された「むしたちのおとのせかい」の切り絵作品も展示、紹介した。

■関連イベント

●特別ギャラリートーク

解 説 福井利佐 氏(切り絵アーティスト)

日 時 11月12日(土) ①11時から ②14時30分から

会 場 展示室内

参 加 費 無料(※入館料のみ、但し事前募集の当選者優先)

内 容 福井利佐氏本人によるギャラリートーク。当日、サイン会も行われた。

参加者: ①48人、②36人

入 館 者 有料:1,386人 無料:535人 合計:1,921人

4. 企画展 禅 ダルマさんが並んだ

主 催 駿府博物館

後 援 静岡新聞社・静岡放送

■会 期 2023年1月7日(土)~3月5日(日)[50日間]

■開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休 館 日 月曜日(※1月9日は開館し1月10日休館)

■会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送別館2階)

■入 館 料 《当日券のみ》高校生以上500円 中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料

■内 容

日本の禅宗、ジョブズも漱石も、そして諭吉も惹かれた禅。所蔵品を中心に、中国禅宗の祖師である達磨大師を描いた作品から、禅の世界を紹介した。

■関連イベント

●特別ギャラリートーク

解 説 山崎慈耕 氏(臨濟宗 高林寺住職)

日 時 1月21日(土) 午後2時から

会 場 展示室内

参 加 費 無料(※入館料のみ)

内 容 山崎慈耕氏による禅や鑑賞のポイントを解説した。

参加者: 90人

入 館 者 有料:638人 無料:187人 合計:825人

5. 第46回蘇峰会静岡県書道展

- 主 催 駿府博物館(公益財団法人 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団)
 共 催 公益財団法人蘇峰会、静岡新聞社・静岡放送
 後 援 静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡県書道連盟
- 会 期 3月14日(火)~3月26日(日)[12日間]
 ※会期中、大幅な展示替えを行った。
 前期:3月14日(火)~3月19日(日)
 徳富蘇峰賞、静岡県知事賞、静岡市長賞、幼稚園・小学生の作品を展示
 後期:3月21日(火)~3月26日(日)
 徳富蘇峰賞、静岡県知事賞、静岡市長賞、中・高校生、一般の作品を展示
- 開館時間 午前10時00分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
 ■休 館 日 3月20日(月)
 ■会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送会館別館2階)
 ■入 館 料 無料
 ■内 容
 徳富蘇峰の顕彰と書道の発展・普及を目的に開催。応募の中から、最高賞の「徳富蘇峰賞」を含む大賞、優秀賞を展示した。

入 館 者 無料:405人

2022年度 展 覧 会 入 館 者	有料	7,717人 (1,646人)	無料	5,866人 (1,427人)	合計	13,583人 (3,073人)
--------------------------	----	--------------------	----	--------------------	----	---------------------

※ () 内は2021(令和3)年度実績

B. 教育普及活動

1. 第19回駿府博物館短期歴史講座

静岡「その時」

- 主 催 駿府博物館
 ■会 場 静岡県産業経済会館 3階 (大会議室)(静岡市葵区大手町44-1)
 ※新型コロナウイルス感染症の感染予防および拡大防止のため、会場を静岡県産業経済会館に変更した
 ■受 講 料 一般5,000円 大学生・大学院生3,000円 高校生2,000円
 (全4回分、税込、資料代含む)
 ■募集人数 50名
 ■受講者数 34名

■内 容 静岡県の歴史の隠れた転機やエピソードを学ぶことを狙いとしています。「作家 三島由紀夫の作品に見る旧清水市」「発掘調査が明らかにした義時・政子の生まれた里、頼朝拳兵の地」「新居関所が語る江戸時代の静岡県」「静岡に根付いた報徳思想」などを切り口に、ふるさとの歴史をユニークな視点で紹介した。

■日時・講師・テーマ

【第1回】2022年10月1日(土)13:30-15:30

『三島由紀夫、最後の小説「天人五衰」と清水』

講師 静岡大学 人文社会科学部 言語文化学科 教授 小二田誠二氏

【第2回】2022年10月8日(土)13:30-15:30

『鎌倉幕府草創の地 伊豆の国の中世』

講師 伊豆の国市教育委員会文化財調査員 池谷初恵氏

【第3回】2022年10月29日(土)13:30-15:30

『新居関所から見る江戸時代の静岡県』

講師 元湖西市文化課課長 切池融氏

【第4回】2022年11月5日(土)13:30-15:30

『報徳思想が静岡県に与えた影響』

講師 静岡県近代史研究会幹事、県立浜松視覚特別支援学校教諭 足立洋一郎氏

延べ参加者数：94人（1回31人、2回22人、3回18人、4回23人）

◇2022年度博物館利用者数 14,629人

事 項	有 料	無 料	合 計	備 考
展覧会入館者数	7,717	5,866	13,583	5展覧会
講座参加者数	94	0	94	1講座4回
イベント参加者数	0	952	952	5イベント5回
博 物 館 利 用 者 数 総 計			14,629	

公益目的事業 2

社会福祉事業及び災害救援活動への助成及び支援

A. 社会福祉事業への助成及び支援

「第60回愛の都市訪問」

社会福祉事業「愛の都市訪問」を実施した。県民の皆様から寄せられた寄付金で寄贈品を購入し、県民の社会福祉に役立てた。県民のボランティアに対する理解を深め、地域福祉の応援とボランティア活動を支援するための物品を寄贈し、必要とされている物を必要としているところに届けるため、財団ホームページと静岡新聞及び静岡放送を通じて県内から広く公募し、選考委員会で審査の上、寄贈先と寄贈品を決定した。

1. 寄付金	総額	3,583,077 円	2021 年度繰越金	1,124,361 円	合計	4,707,438 円
2. 寄贈団体	車両	・・・2 団体	資機材	・・・2 団体		
3. 助成金額	合計	4,020,510 円				
4. 繰越金	合計	686,928 円				

B. 災害救援活動への助成支援

「令和 4 年台風第 15 号災害義援金」

2022 年 9 月 23 日から 24 日未明にかけて静岡県に最接近し、県内各地に大きな爪痕を残しました「令和 4 年台風 15 号災害」の発生を受け、甚大な被害をもたらした被災地への義援金受け付けを行い、全額を日本赤十字社静岡県支部に寄付した。

義援金 404 件 総額 24,505,000 円

(※締切後の入金 1 件 5,000 円については日本赤十字社静岡県支部に追加寄付した。)

公益目的事業 3

地域のために献身的な活動を続ける個人及び団体の表彰

「第 12 回ふるさと貢献賞」

地域のために献身的な活動を続ける個人・団体を表彰する「ふるさと貢献賞」を実施した。表彰は「学校の部」「企業・団体の部」「個人の部」の 3 部門で行った。

表彰団体

「学校の部」	6 団体
「企業・団体の部」	7 団体
「個人の部」	3 団体

収益事業

A. 展覧会印刷物の制作・図録・グッズ販売

1. 所有物品の販売（ファイル、図録、はがき） 有料販売
2. 委託物品の販売（バンクシーグッズ、はがき、書籍、カレンダー等） 有料販売

B. 所蔵作品の図版貸与・複製品の販売

※詳細は館外業務参照

館内業務

1. 職員の異動

2023年3月1日、事務局長・館長・業務執行理事の原尚弘が本社に異動し、後任に小泉祐子が就任した。

2023年3月1日、植田英之が本社より異動し、事務局次長に就任した。

2023年3月24日、黒井梨香が学芸員として試用採用された。

2023年3月31日、堀池順子が退職。

館外業務

1. 作品の貸与・出品

- 1) 貸出先 静岡市美術館
作 品 土佐光成「駿府鳥瞰図」
貸出品 作品
使用目的 静岡市・静岡市美術館、(公財)静岡市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送が主催・共催する特別展「東海道の美 駿河への旅」で展示。
貸出料 25,000円(税別)
貸与期間 2023年2月11日ー2023年3月26日

2. 写真撮影及び掲載等

- 1) 貸出先 (株)SBSメディアビジョン
作 品 土佐光成「駿府鳥瞰図」
貸出品 作品画像データ
使用目的 テレビ番組名「静岡市歴史めぐりまち囁し」内で、使用。
貸出料 無料
貸与期間 2022年5月13日ー2022年7月31日
- 2) 貸出先 静岡大学教育学部
作 品 徳川家康「書状 中村式部少輔宛」
貸出品 作品画像データ
使用目的 全国大学書道学会 静岡大会における記念講演「大御所家康と書」(講師：本多隆成氏)においてパワーポイント紹介
貸出料 無料
貸出期間 2022年6月17日ー2022年9月17日
- 3) 貸出先 静岡大学地域創造学環
作 品 蘭字「福助」「車掌」「GWC」「青いかけす」
貸出品 作品画像データ

- 使用目的 蘭字の魅力発信、地域活性化、茶文化振興を目的とする「ランジ de 茶蘭字！」事業において、蘭字のデザインを用いて商品を制作し、静岡県内で販売。販売余剰金は地域活性化団体に寄付。
- 貸出料 無料
- 貸出期間 2022年9月1日－2022年10月31日
- 4) 貸出先 共同印刷(株)
- 作 品 伊東深水「吹雪」
- 貸出品 作品画像データ
- 使用目的 伊東深水「吹雪」の複製品販売
- 貸出料 660,000円(税別)／発行部数60冊
- 貸出期間 2022年8月12日－契約締結の日から5年間
- 5) 貸出先 NHKメディア総局
- 作 品 土佐光成「駿府鳥瞰図」
- 貸出品 作品画像データ
- 使用目的 テレビ番組名「ぶらたもり」内で、使用。
- 貸出料 30,000円(税別)
- 貸与期間 2022年10月15日－2022年12月3日
- 6) 貸出先 第一テレビ
- 作 品 輸出茶箱(蘭字ラベル貼り)
- 撮 影 品 茶箱
- 使用目的 テレビ番組名「the NEXT」内で、蘭字のデザインを利用した商品を制作している静岡大学の学生グループ「ランジ de 茶蘭字！」の活動の様子を紹介する際に「蘭字とはどういったものか？」という説明の時に茶箱を使用。
- 貸出料 無料
- 撮影期間 2022年10月25日
- 7) 貸出先 静岡市歴史博物館
- 作 品 土佐光成「駿府鳥瞰図」
- 貸出品 作品画像データ
- 使用目的 静岡市歴史博物館の基本展示図録に使用。
- 貸出料 15,000円(税別)
- 貸出期間 2022年11月27日－2023年1月13日
- 8) 貸出先 NHK静岡放送局
- 作 品 土佐光成「駿府鳥瞰図」
- 貸出品 作品画像データ
- 使用目的 テレビ番組名「たっぷり静岡」内防災番組で、使用。
- 貸出料 30,000円(税別)
- 貸与期間 2023年1月12日－2023年1月31日

- 9) 貸出先 (株)SBSメディアビジョン
作 品 土佐光成「駿府鳥瞰図」
貸出品 作品画像データ
使用目的 テレビ番組名「春風亭昇太師匠の歴史めぐりまち噺し 駿府歴史散歩」内で、使用。
貸出料 無料
貸与期間 2023年1月12日～2023年2月4日
- 10) 貸出先 栃木県立博物館
作 品 徳川家康書状「田丸忠昌宛」
貸出品 作品画像データ
使用目的 栃木県立博物館調査研究報告書「日光に祀られる以前の徳川家康と下野」に掲載
貸出料 5,000円(税別)
貸与期間 2023年2月25日～2023年3月31日

3. 契約継続事項

1. (株)江崎新聞店と静岡新聞セット購読契約 (平成26年8月1日～)
2. 総合警備保障(株)と機械警備契約 (平成26年12月24日～)
3. リコーリース(株)とコピー機のリース契約 (平成27年1月1日～)
4. 静岡放送(株)と事務所及び展示室の賃貸契約 (平成27年1月1日～)
5. ユニー(株)アピタ静岡と駿府博物館展覧会チケット販売業務委託 (平成27年1月1日～)
6. (株)ケイエムアドシステムと静鉄バスの車内アナウンス契約 (平成27年1月1日～)
7. 杉山明喜雄公認会計事務所と会計顧問契約 (平成27年7月～)
8. 杉山明喜雄公認会計士事務所とTKC会計システムFX2のリース契約 (平成27年7月～)
9. クマリフト(株)と階段昇降機保守点検作業契約 (平成28年9月1日～)
10. (株)静岡日立と空調設備保守点検作業契約 (平成30年8月1日～)
11. (株)Pizza Worksと「バンクシー」グッズの販売委託契約 (令和3年10月～令和4年9月まで)
12. 如水会とカレンダー「禅の心」の販売委託契約 (令和4年10月～令和5年3月まで)

4. 新規契約事項

1. 総合警備保障(株)と警備機械リース契約 (令和4年9月～)

事業報告の付属明細書

該当事項、ありません。